

情報共有

官邸班 - NISA班 ← 福島村所

(2枚) 非管理メモ

※ NISA 命令お渡し済

各位

東京電力株式会社

福島の本日のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

=====

6/7 (火) 9時定例レク概要

<説明内容>

①プラント関連パラメータ【口頭説明】

(6月7日 6:00現在)

②本日の作業予定等について【口頭説明】

○昨日の1F協力企業作業員けが人の発生について

【1号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- 原子炉格納容器への窒素封入について
- 原子炉建屋地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について

【2号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- トレンチ立坑からプロセス主建屋へのたまり水の移送について

【3号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- T/B地下階から復水器へのたまり水の移送について
- 代替冷却設備設置のためのガレキ撤去について

【4号機】

- SFPへのヒドラジンを含む水の放水(昨日実績)について
- SFP底部支持構造物設置工事について

【6号機】

- T/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について

【各号機のT/B地下階、トレンチ立坑水位について】

【集中廃棄物処理施設】

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- 高レベル廃液処理設備設置工事について

【その他】

- 循環型海水浄化装置の設置工事について
- 有人による飛散防止剤の樹脂散布について
- コンクリートポンプ車、屈折放水塔車による飛散防止剤散布について
(本日作業予定無し)
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- 港湾関連施設の改修工事について
- 大型タンク設置作業について

<主な質疑>

Q. けが人は通訳ということだが?

A. セシウム吸着装置の水張り作業時の通訳と聞いている。

Q. 専門知識を持った方か? また日本人の方か?

A. 詳細については承知していない。

Q. 短靴は適正な装備なのか?

A. 短靴は通常の装備である。
発生時の詳細については確認中である。

3

Q. けが人発生による作業への影響は？

A. 現状では特段影響ないと考えている。

Q. 大型タンクについて、高レベル廃液を入れた後の保管方法は？

A. 土中に保管する等必要な処置を施す。
そのための準備等も検討中である。

Q. 発電所内のどこに保管するのか？

A. 検討中である。

Q. 2号機について、R/B内の追加測定は実施しないのか？

A. 現在前回の結果を評価中であり、必要と判断すれば実施する。

Q. 3号機注水量の変更予定はないのか？

A. 現在は状態監視を継続している。

Q. NISAによる原子炉の損傷状態の評価を受けて、工程には影響しないのか？

A. 現在内容を確認中である。

上

情報共有
(2枚)

官邸班 → 7レス対応 TM (非管理メモ)
NISA班

※分室手渡しのみです。

東京電力株式会社

各位

福島の本日のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

6/7(火) 20時定例レク概要

<説明内容>

①「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の各種分析の結果について(第七十四報)」

「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について(第七十六報)」

「茨城県沖における海水中の放射性物質の核種分析の結果について(続報4)」

「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水に含まれる放射性物質の各種分析の結果について(6月6日採取分)」

「福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について」

「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」
【全て資料配付】

②当社福島第一原子力発電所における核種分析結果の
嚴重注意に対する対応について(続報4) 【資料配付】

③プラント状況、本日の作業状況等について【口頭説明】

【1号機】

- 原子炉建屋地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について

【2号機】

- トレンチ立坑からプロセス主建屋へのたまり水の移送について

【3号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- T/B地下階から復水器へのたまり水の移送について
- 代替冷却設備設置のためのガレキ撤去について

【4号機】

- SFPへの放水について
- SFP底部支持構造物設置工事について

【5号機】

- ORRSポンプの通水テスト予定について

【6号機】

- T/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について

【各号機のT/B地下階、トレンチ立坑水位について】

【集中廃棄物処理施設】

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- 高レベル廃液処理設備設置工事について

【その他】

- 循環型海水浄化装置の設置工事について

- 有人による飛散防止剤の樹脂散布について
- コンクリートポンプ車による飛散防止剤散布について
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- 大型タンク設置作業について
- 昨日の負傷者について
- 休憩所について

<主な質疑>

- Q. RHR Sポンプの運転時間は。また、温度は。
A. 9時から2, 3時間程度になると思う。
12時データだが、原子炉水温度は45度くらい。
- Q. RHR Sを止めたら、朝には状況が分かるのか。
A. 朝、確認できればお知らせする。
- Q. ダストのサンプリングについてだが、新たに出ているのか。
元からのものが舞い上がっているのか。
A. 原子炉建屋の状況から、新たなものと以前からのものと双方あるかもしれないが、今のデータからは判断できない。
- Q. 損傷の激しい建屋からの蒸気は危険ではないのか。
A. 今のデータだけでは詳細が分からず判断できない。
- Q. 負傷者の情報は入っていないのか。
A. その通り。
- Q. 休憩所の運用開始の遅れた理由は。
A. 元々予定での日にちであり、特段の理由はないが、あえて言うなら諸準備に時間がかかった。
- Q. サブドレンの値が下がった理由は。
A. 値が上がっていたのは雨水に土などが巻き込まれていたためと考えられるが、それが薄まったためと思われる。

以上